

# 2019年12月期決算、 2020～2022年12月期中期経営計画（Gaia 2021） 説明会

公表日：2020年2月14日

開催日：2020年2月19日（東証ジャスダック グロース：4579）

## 本日のプレゼンテーションの内容

2019年12月期 決算概要と事業ハイライト

2019年12月期の振り返り（詳細）

- 1) tegoprazan
- 2) ペット用医薬品
- 3) イオンチャネル創薬
- 4) テムリック株式会社「タミバロテン」

2020年12月期 通期業績予想

2020~2022年12月期 中期経営計画（Gaia2021）

その他

- 1) 主なプログラムの状況
- 2) 特許関連ニュース
- 3) 産学官連携
- 4) ラクオリア イノベーションズ株式会社

## 2019年12月期 事業ハイライト

tegoprazan      **韓国**2019年3月販売開始、好発進    **中国**フェーズ3実施中

GALLIPRANT®    **北米**好調持続、**欧州**2019年3月販売開始

ENTYCE®        **北米**着実に進捗、ネコでピボタル試験実施中

### 提携拡大

CJ HealthCare Corporation(韓国：以下「CJ社（韓国）」)とグローバルパートナーシップ拡大で合意、tegoprazanの**北米・欧州**ライセンスをCJ社に供与

### 導出済プログラム

P2X7受容体拮抗薬…旭化成ファーマ社でステージアップ  
 特定のイオンチャネル…EAファーマ社でステージアップ  
 ジプラシドン…Meiji Seikaファルマ社が国内フェーズ3試験速報発表

### 共同研究案件

新規=あすか製薬（イオンチャネル）  
 新規=epigeneron（腎疾患）  
 新規=名古屋市立大学（筋委縮性側索硬化症/感染症）  
 新規=岐阜薬科大学（網膜静脈閉塞症）

### 学会発表

名古屋大学とCRHR2拮抗薬に関するポスターを共同発表

# 2019年12月期 連結損益計算書

(単位：百万円)

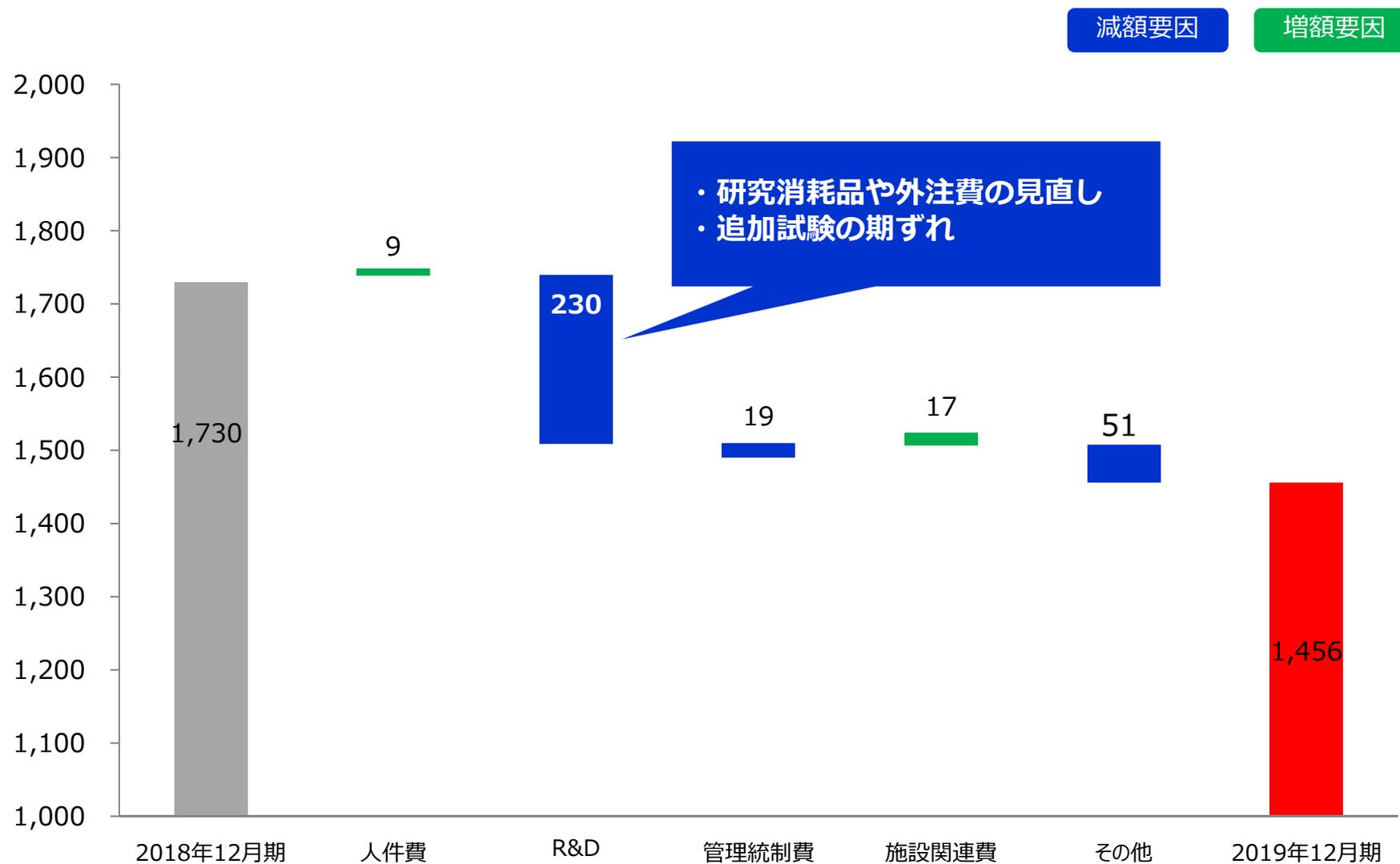
【連結】	2018年12月期 (前期)	2019年12月期 (当期)
事業収益	744	<b>1,702</b>
事業費用及び事業原価	1,819	<b>1,718</b>
営業損失 (△)	△1,075	<b>△15</b>
経常利益又は経常損失 (△)	△1,064	<b>21</b>
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△)	△1,104	<b>5</b> 

**創業来初の最終損益黒字化達成**

2019/9/6発表の  
業績予想数値  
(1,840)から圧縮

# 2019年12月期 事業費用の増減要因

(単位：百万円)



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 2019年12月期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

【連結】	2018年12月期	2019年12月期	増減	主な増減内容
<b>流動資産</b>	1,962	<b>3,067</b>	<b>1,105</b>	
現金及び預金	1,671	<b>2,174</b>	<b>503</b>	新株予約権による資金調達
売掛金	0	<b>747</b>	<b>747</b>	契約一時金および販売ロイヤルティ
有価証券	168	<b>26</b>	△ <b>142</b>	手許流動性を高めるため運転資金へ
前払費用	71	<b>69</b>	△ <b>2</b>	
その他	52	<b>51</b>	△ <b>1</b>	
<b>固定資産</b>	2,090	<b>1,769</b>	△ <b>321</b>	
有形固定資産	317	<b>248</b>	△ <b>69</b>	減価償却による減少
無形固定資産	33	<b>32</b>	△ <b>1</b>	
投資その他資産	1,738	<b>1,488</b>	△ <b>250</b>	手許流動性を高めるため運転資金へ
<b>資産合計</b>	4,052	<b>4,836</b>	<b>784</b>	
<b>流動負債</b>	164	<b>183</b>	<b>18</b>	
<b>固定負債</b>	30	<b>32</b>	<b>2</b>	
<b>負債合計</b>	195	<b>215</b>	<b>20</b>	
<b>純資産合計</b>	3,857	<b>4,620</b>	<b>763</b>	
<b>負債・純資産合計</b>	4,052	<b>4,836</b>	<b>784</b>	

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 2019年12月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

【連結】	2018年12月期	2019年12月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△403	<b>△530</b>	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△368	<b>216</b>	<b>584</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	99	<b>695</b>	<b>596</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	<b>△10</b>	△38
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△644	<b>370</b>	<b>1,015</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,473	<b>1,829</b>	△644
現金及び現金同等物の期末残高	1,829	<b>2,200</b>	<b>370</b>

### 決算ハイライト

- 営業活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、税引前調整前当期純損益が27百万円の黒字に転じたほか、売上債権の増加△746百万円などが背景
- 投資活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、投資有価証券の売却による収入301百万円
- 財務活動によるキャッシュ・フローの主な内訳は、新株予約権の行使による株式の発行による収入692百万円

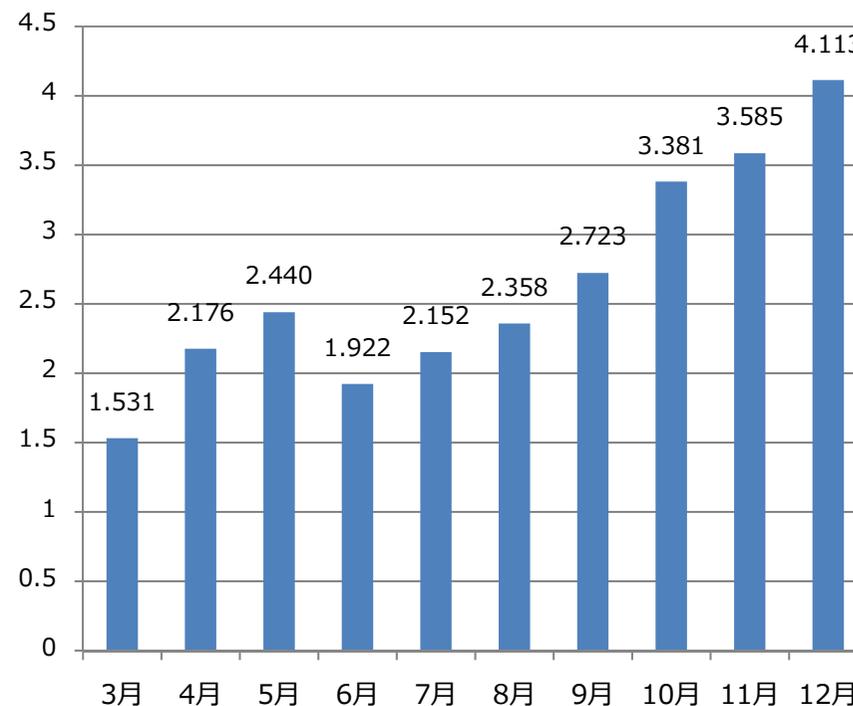
ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

# 1) tegoprazan : 韓国 「K-CAB®」 好発進



販売用パンフレット

## 「K-CAB®」 韓国での売上高 2019年3月 – 12月



院外処方データ (bw)  
出典：UBISTデータ

## 1) tegoprazan : 中国 第Ⅲ相臨床試験進行中



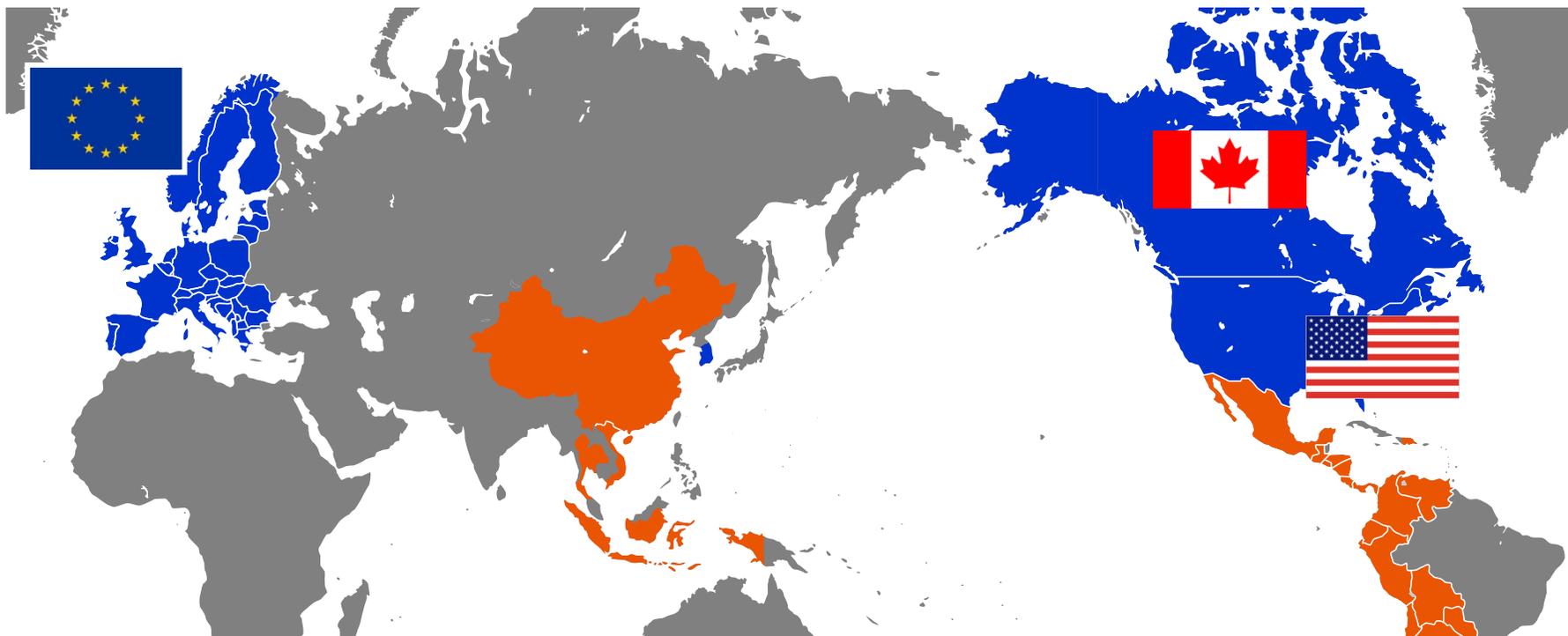
### ■ サブライセンス先

- Luoxin社（中国）

### ■ 第Ⅲ相臨床試験の概要

- びらん性胃食道逆流症を目標適応症として主要評価項目達成
- 非びらん性胃食道逆流症の臨床試験が進行中
- 十二指腸潰瘍の臨床試験を検討中

# 1) tegoprazan : 世界展開 グローバルパートナーシップ拡大

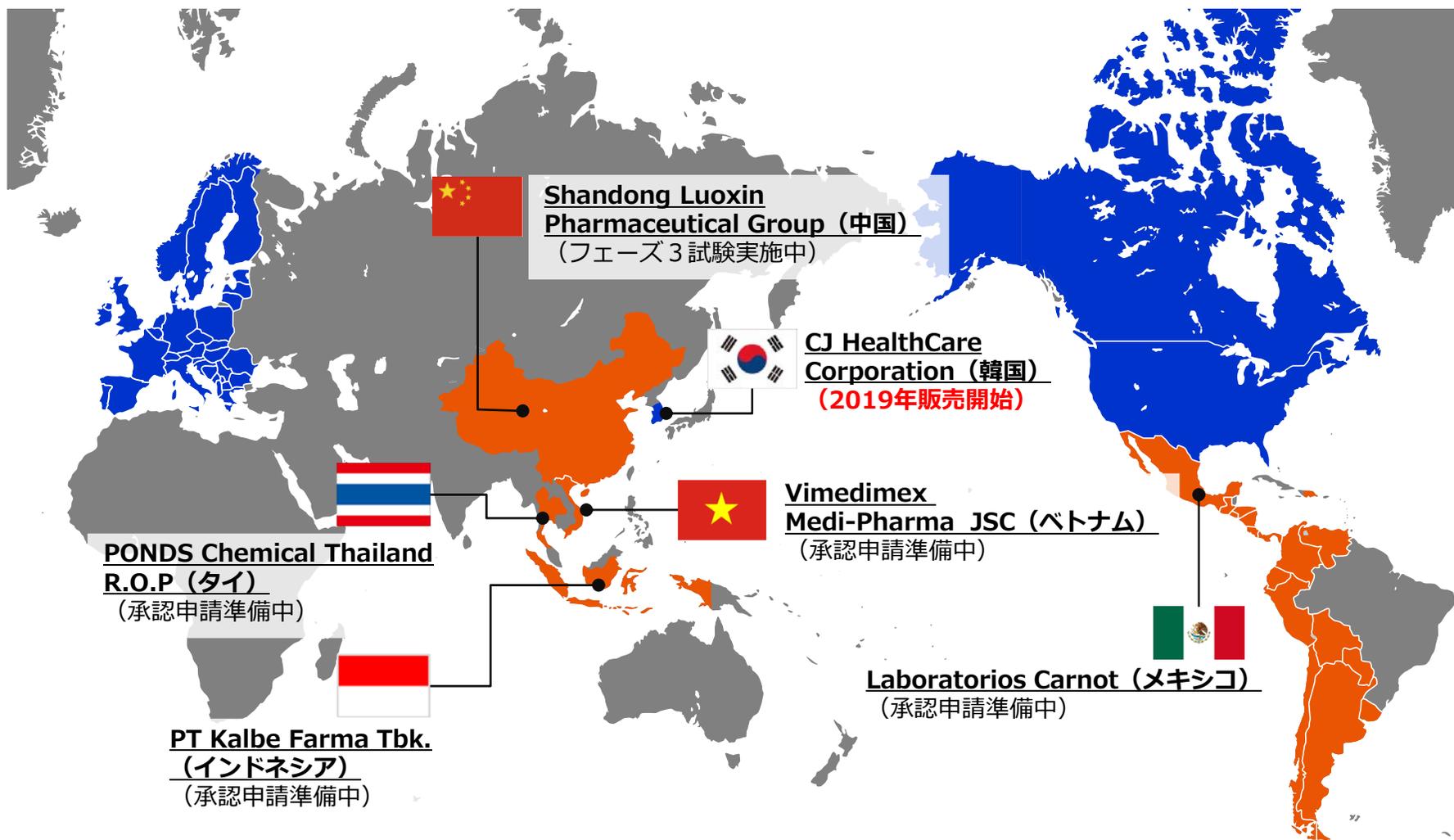


2019年11月26日

**CJ社（韓国）とのグローバルパートナーシップ拡大  
tegoprazanの北米・欧州の独占的ライセンスを許諾**

**欧米ビッグマーケットに参入へ  
CJ社（韓国）との連携をより強固に**

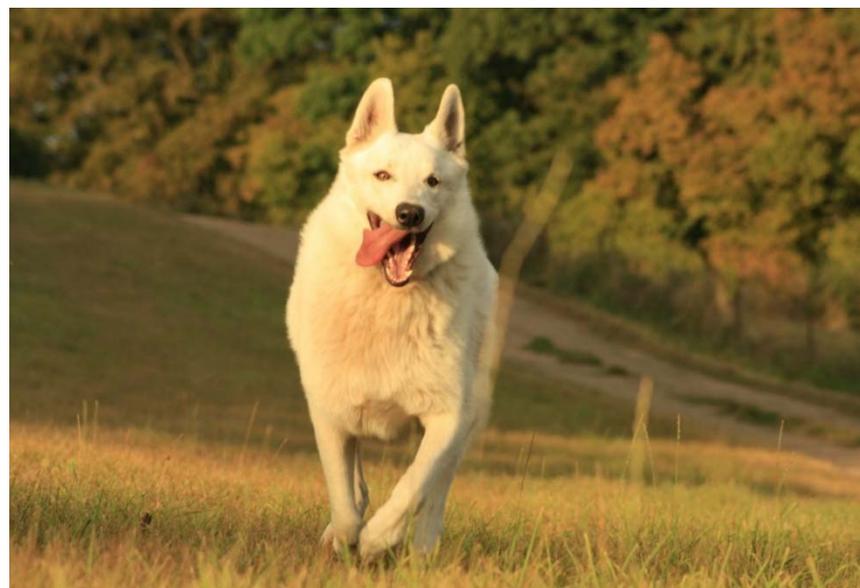
# 1) tegoprazan : 世界展開 サブライセンス状況



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 2) ペット用医薬品 : GALLIPRANT®

**Galliprant**  
(grapiprant tablets)



適応症	犬の変形性関節症（慢性炎症性疼痛）
販売元	Elanco Animal Health Inc.（以下「エランコ社（米国）」） （2019年7月エランコ社（米国）がAratana Therapeutics Inc.を子会社化、新販売体制構築）
参考情報	非ステロイド性消炎鎮痛剤（NSAIDs）でのリーディングブランド

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 2) ペット用医薬品 : ENTYCE®

entyce®  
(capromorelin oral solution)



適応症	犬の食欲不振症（体重減少）
販売元	エランコ社（米国）
参考情報	エランコ社（米国）による販促強化 米国にて慢性腎臓病の高齢ネコを対象にピボタル試験実施中

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

### 3) イオンチャネル創薬

#### ■ 製薬企業4社と共同研究等を実施

会社名	内容	直近の状況
E A ファーマ株式会社	消化器領域における特定のイオンチャネル 現在、同社にて開発中	2019年9月 マイルストーン達成
マルホ株式会社	選択的ナトリウムチャネル遮断薬 現在、同社にて開発中	2017年12月 ライセンス契約締結
旭化成ファーマ株式会社	P2X7受容体拮抗薬 (RQ-00466479、AKP-23494954) 現在、同社にて開発中	2019年10月 マイルストーン達成
あすか製薬株式会社	特定のイオンチャネルを標的とした共同研究	2019年7月 共同研究契約締結

#### ■ 探索研究段階における共同研究



探索研究ステージを基本に、当社と製薬会社の双方が持つ強みを持ち寄り、革新的な開発化合物の創出を目指す

## 4) テムリック株式会社：タミバロテンの状況

- 急性骨髄性白血病（AML）は、未治療および再発・難治の患者さんを対象とし、5-アザシチジン（プリストル・マイヤーズ スクイブ）と併用した場合の効果や安全性を調べるフェーズ2試験を実施中。**中間データの結果は良好。**
- 乳がん（BC）は、AMLの併用試験の効果状況を鑑みて開始予定。
- 神経芽腫（NB）は、Epigenetic作用薬との併用により、POCを確立し、新薬承認を目指す。
- 急性前骨髄球性白血病（中国・APL）は、亜ヒ酸との併用によるATRA再発並びに不応性APLに対する中国での輸入承認を目指す。
- 好中球減少症（NP）は、導出交渉中で、可能な限り早期契約締結を目指し、がん適応以外への拡大を図る。

適応症	導出先	探索	前臨床	臨床試験			申請	承認	販売	契約地域
				フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3				
急性骨髄性白血病 Acute Myeloid Leukemia: AML	Syros Pharmaceutical, Inc. (米)	○	○	○	●					米国
乳がん Breast Cancer: BC	Syros Pharmaceutical, Inc. (米)	○	○	○	○					米国
神経芽腫 Neuroblastoma: NB	大原薬品工業株式会社	○	○	●						日本
急性前骨髄球性白血病 Acute Promyelocytic Leukemia: APL	東光薬品株式会社	○	○	○	○	○	●			中国
好中球減少症 Neutropenia: NP	導出交渉中	○	●							アジア

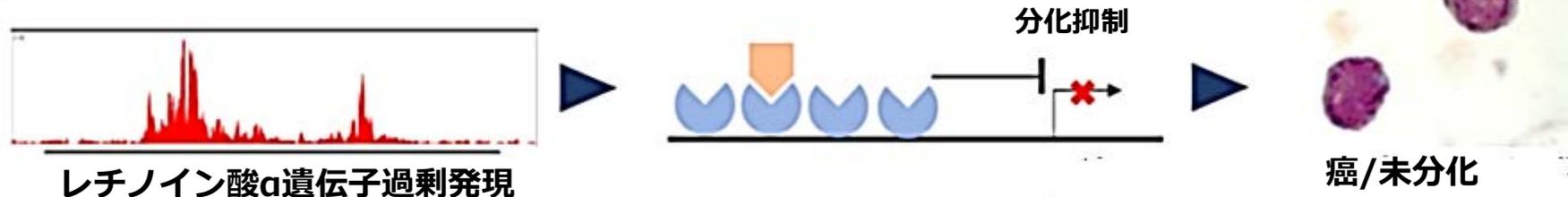
ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

# 4) テムリック株式会社：タミバロテンの作用メカニズム

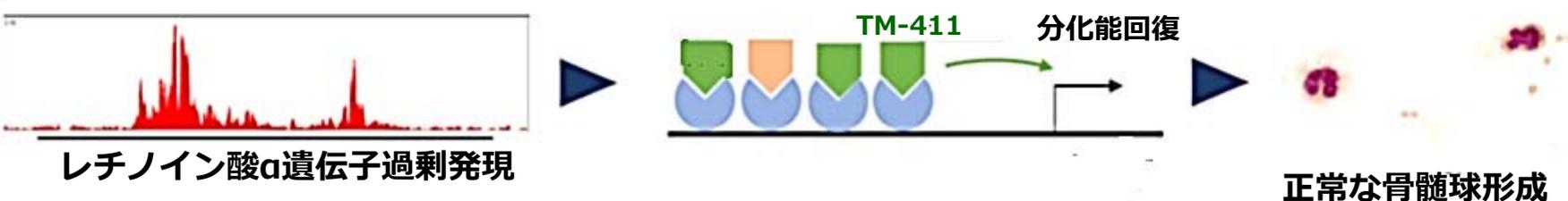
## ① 正常な骨髄球



## ② 急性骨髄性白血病（骨髄球の癌化）



## ③ 急性骨髄性白血病 + タミバロテン

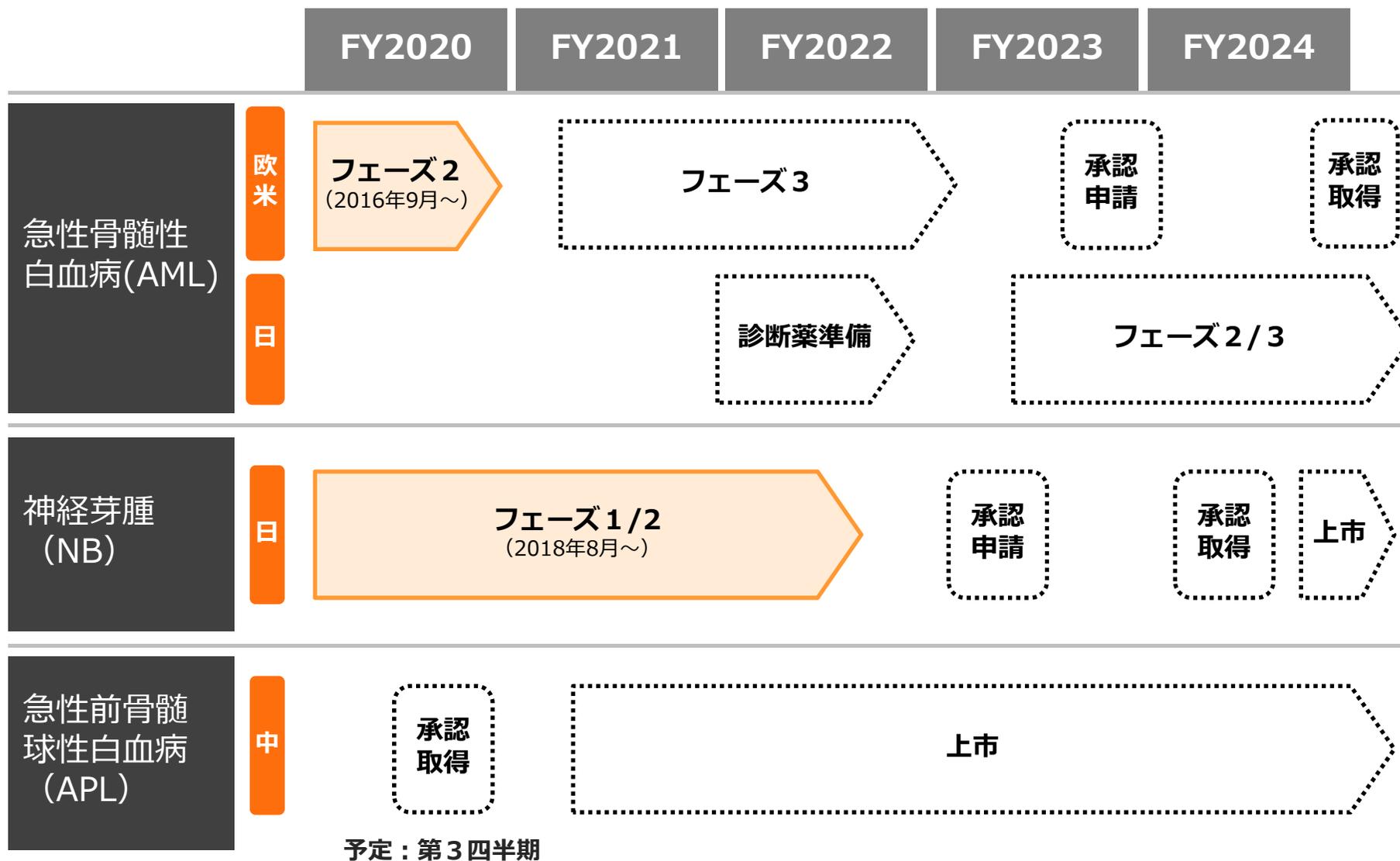


Copyright © TMRC Co., Ltd. All rights reserved.

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

Copyright © 2020 RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved

## 4) テムリック株式会社：タミバロテンのロードマップ



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 2020年12月期 業績予想

(単位：百万円)

【連結】	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (計画)
事業収益	1,702	<u>2,129</u>
事業費用及び事業原価	1,718	<u>2,059</u>
営業利益又は営業損失 (△)	△15	<u>70</u>
経常利益	21	<u>85</u>
親会社株主に帰属する当期純利益	5	<u>13</u>

### トピックス

- 事業収益は、韓国におけるtegoprazan（韓国商品名：『K-CAB®』）の販売が順調に推移するとみられるうえ、GALLIPRANT®、ENTYCE®のペット用医薬品2品も堅調に推移する見通しで、ロイヤルティ収入はさらに拡大すると見込んでおります。
- ライセンス・アライアンス活動を推進し、契約一時金やマイルストーン収入の受領を見込んでおります。
- 事業費用につきましては、探索段階および開発初期段階の各プロジェクトを進捗させるために投資を行う一方で、引き続き経費等の適正化を進め、収益体質の強化に努めてまいります。

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

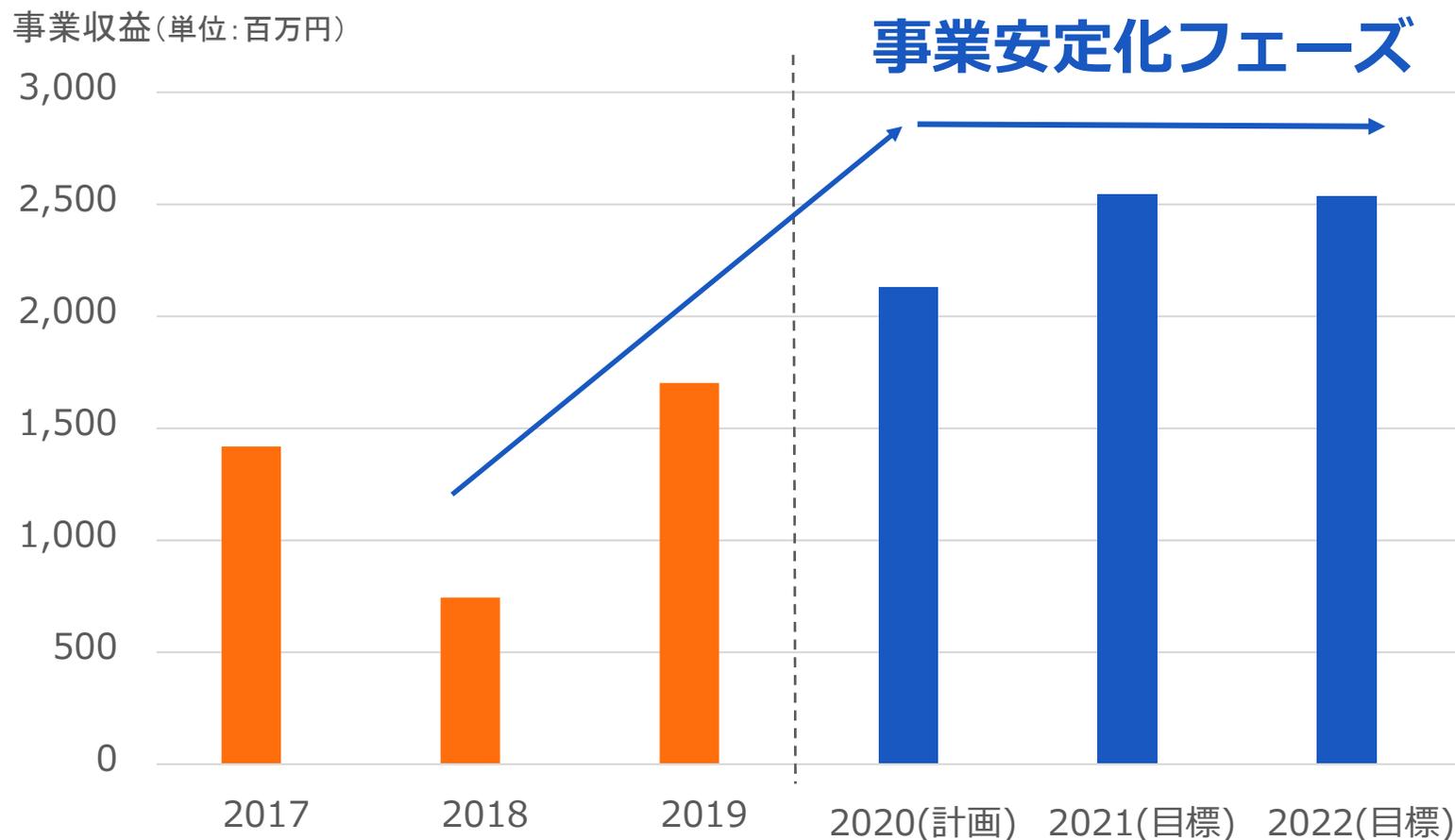
## 中期経営計画 「Gaia2021」の概要と数値目標

(単位：百万円)

【連結】 (単位；百万円)	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (9/6時の計画)	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (計画)	2021年12月期 (目標)	2022年12月期 (目標)
事業収益	744	1,756	<b>1,702</b>	<u>2,129</u>	<u>2,543</u>	<u>2,535</u>
事業費用	1,819	1,840	<b>1,718</b>	<u>2,059</u>	<u>2,209</u>	<u>2,168</u>
(内) 人件費	607	625	<b>616</b>	<u>705</u>	<u>770</u>	<u>789</u>
(内) 研究開発費	451	267	<b>221</b>	<u>396</u>	<u>358</u>	<u>360</u>
営業利益又は 営業損失 (△)	△1,075	△84	<b>△15</b>	<u>70</u>	<u>334</u>	<u>367</u>
経常利益又は 経常損失 (△)	△1,064	△82	<b>21</b>	<u>85</u>	<u>362</u>	<u>384</u>
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 に帰属する当期純損失 (△)	△1,104	△106	<b>5</b>	<u>13</u>	<u>247</u>	<u>322</u>
為替 (米ドル/日本円)	110.91	110.00	<b>109.55</b>	<u>110.00</u>	<u>110.00</u>	<u>110.00</u>

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 事業収益の推移



**契約一時金・マイルストーン収入による事業収益の着実な増加から  
ロイヤルティ収入による事業安定化フェーズへの移行へ**

## 費用の概要

(単位：百万円)

【連結】 (単位；百万円)	2018年12月期 (実績)	2019年12月期 (当初計画)	2019年12月期 (実績)	2020年12月期 (計画)	2021年12月期 (目標)	2022年12月期 (目標)
①事業原価	89	272	262	224	348	370
②事業費用	1,730	1,568	1,456	1,835	1,861	1,798
(内) 人件費	607	625	616	705	770	789
(内) 研究開発費	451	267	221	396	358	360
(内) 管理統制費	255	273	236	317	288	288
(内) 施設関連費	204	235	221	223	255	206
(内) その他	213	168	162	192	190	155
合計 (①+②)	1,819	1,840	1,718	2,059	2,209	2,168

### 2020年12月期

人件費は創薬基盤の拡充を目指した研究員の採用等で増加。  
 研究開発費は自社プログラムの開発を進捗させるための委託研究費の増額で増加。  
 管理統制費は研究開発活動の加速化を図り、専門家等のサポートを増やす。

### 2021年12月期

人件費は増額。創薬基盤の拡充に加え、開発を加速させるための人員を採用。  
 研究開発費は委託研究費の一巡等で減少。

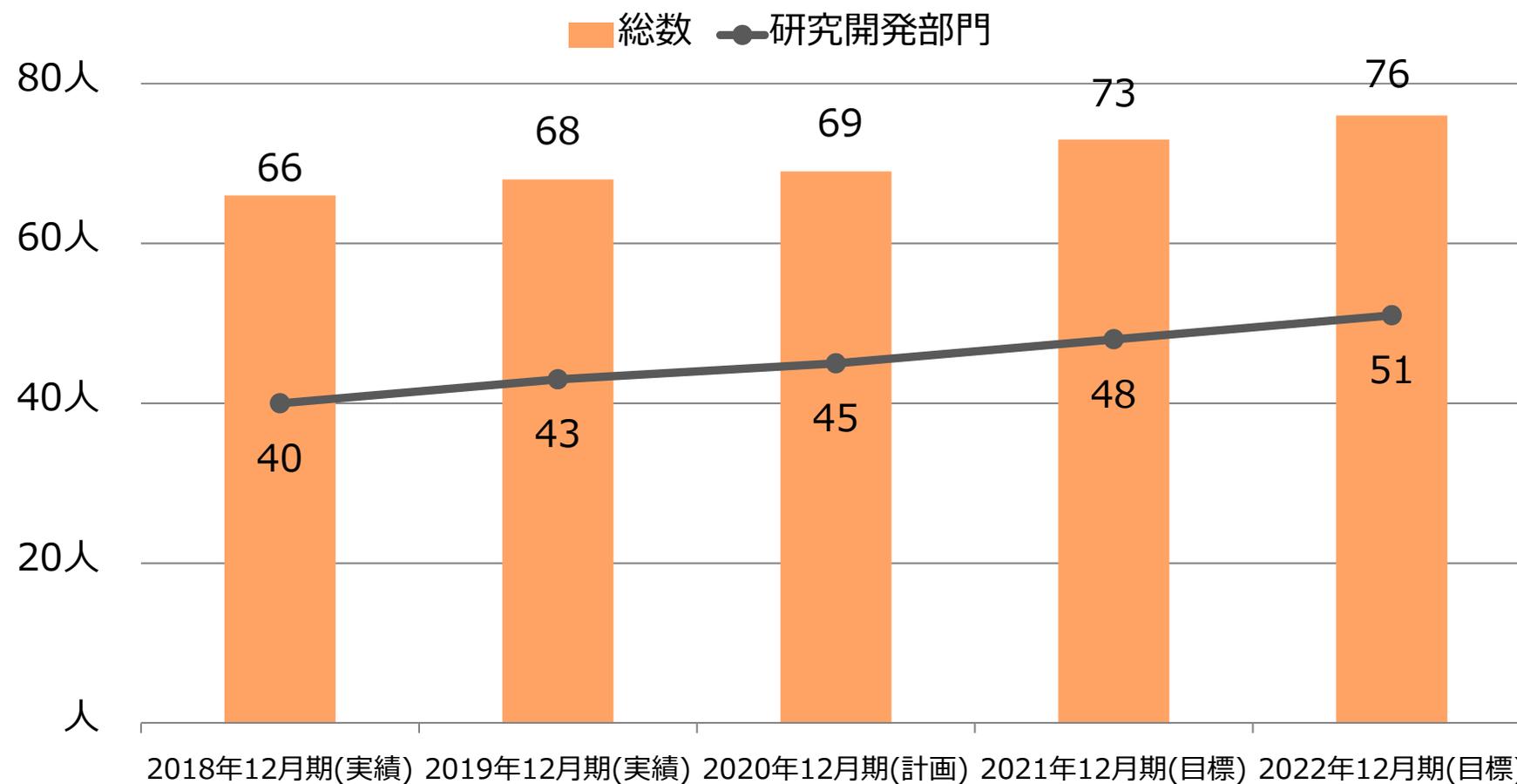
### 2022年12月期

人件費は増額。創薬基盤の拡充に加え、開発を加速させるための人員を採用。

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

# 人員計画

提出日現在



※. 当社連結、休職者含む、臨時職員等除く

## 資金調達戦略

### ■基本方針

- 継続的な事業費用圧縮努力により、各年度の期末資金残高は30億円を維持
- 原則として、運転資金は事業収益からの資金収入と事業費用圧縮効果により調達
- 余剰資金は創薬加速化のため、探索研究費と既存プログラム価値向上のため、研究開発費用に充当し、早期収益化を目指す
- 市場から理解を得られる株主価値向上に根ざした/明確なEquity storyを持った資金調達戦略の提示と実行

### ■実績（現預金、投資有価証券等）

- 2019年度末の資金残高実績（約36億円）

### ■資金調達方法

- 安定株主発掘のための第三者割当増資
- 公募増資
- 新たな資金調達手法の検討（プロジェクト毎のファイナンス等）
- 保有資産の有効利用
- Debtの検討

市場から理解を得られる株主価値向上に根ざした  
明確なEquity Storyを持った資金調達戦略の提示と実行

# 1) 主な導出済みプログラム (ヒト)

プロジェクト	化合物 (一般名)	導出先	主適応症	探索	前臨床	臨床試験			申請	承認	販売
						フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3			
ジブラシドン	RQ-00000003	Meiji Seika ファルマ社	統合失調症	○	○	○	○	●	フェーズ3実施中 (日)		
				○	○	○	○	○			
カリウムイオン競合型 アシッドブロッカー (P-CAB)	RQ-00000004 (tegoprazan)	CJ社 (韓国)	胃食道逆流症	○	○	○	○	●	フェーズ3実施中 (中)		
				○	○	●	フェーズ1終了 (米)				
EP4拮抗薬	RQ-00000007 (grapiprant) RQ-00000008	AskAt社	がん	○	○	●	フェーズ1実施中 (米)				
				○	○	●	フェーズ1実施中 (中)				
			疼痛	○	○	○	●	前期フェーズ2終了 (米)			
				○	○	●	フェーズ1実施中 (中)				
COX-2阻害薬	RQ-00317076	AskAt社	疼痛	○	○	○	●	前期フェーズ2終了 (米)			
				○	○	●	フェーズ1実施中 (中)				

ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

# 1) 導出準備プログラム

- カリウムイオン競合型アシッドブロッカー：P-CAB (tegoprazan/RQ-00000004) は、フェーズ1の治験総括報告書 作成完了 (2016年12月)
- 5-HT<sub>4</sub>部分作動薬 (RQ-00000010) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2017年10月)
- 5-HT<sub>2B</sub>拮抗薬 (RQ-00310941) は、フェーズ1の治験総括報告書作成完了 (2018年4月)
- モチリン受容体作動薬 (RQ-00201894) は、前臨床試験が終了、フェーズ1の検討中
- グレリン受容体作動薬 (RQ-00433412) 及びTRPM8遮断薬 (RQ-00434739) は、前臨床試験の検討中

プロジェクト	化合物	主適応症	臨床試験						実施地域		
			探索	前臨床	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請		承認	販売
カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB)	RQ-00000004 (tegoprazan)	胃食道逆流症 (GERD)	○	○	●						日本
5-HT <sub>4</sub> 部分作動薬	RQ-00000010	胃不全麻痺 機能性胃腸症 慢性便秘	○	○	●						英国
5-HT <sub>2B</sub> 拮抗薬	RQ-00310941	下痢型過敏性腸症候群 (IBS-D)	○	○	●						英国
モチリン受容体作動薬	RQ-00201894	胃不全麻痺 機能性胃腸症 術後イレウス	○	●	○						日本
グレリン受容体作動薬	RQ-00433412	がんに伴う食欲不振 悪液質症候群 脊髄損傷に伴う便秘	●	○	○						日本
TRPM8遮断薬	RQ-00434739	神経障害性疼痛 (化学療法起因性冷アロディニア)	●	○	○						日本

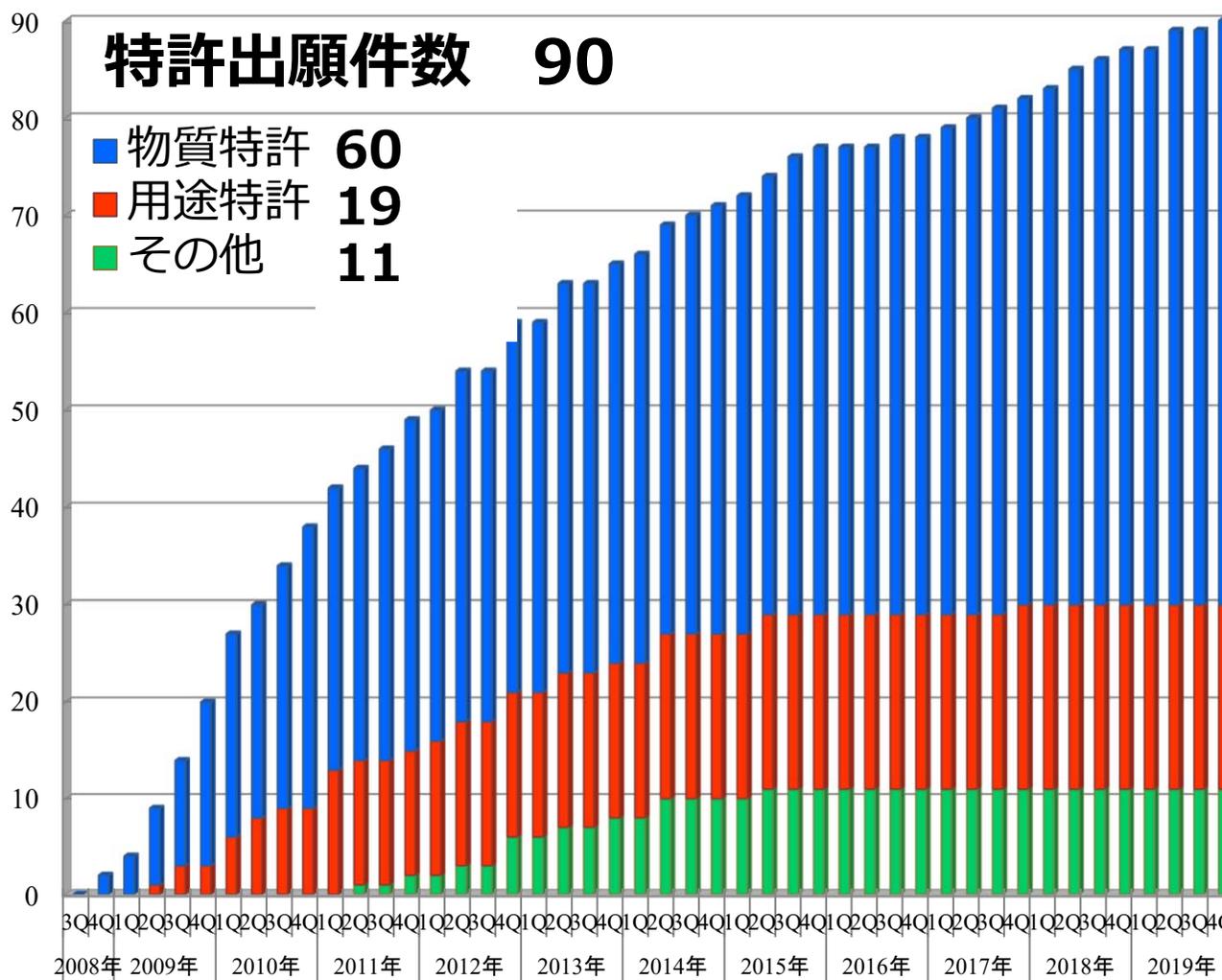
ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

## 2) 特許関連ニュース

日付	対象	地域	内容
2019年12月20日	選択的ナトリウムチャンネル遮断薬 (アミド誘導体)	韓国	物質特許
2019年10月29日	選択的TRPM8遮断薬 (アザスピロ誘導体)	日本	物質特許
2019年8月6日	カリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) に関する新規用途	欧州	用途特許
2019年7月23日	Nav1.7およびNav1.8ナトリウム遮断薬 (アミド誘導体)	日本	物質特許
2019年4月9日	グレリン受容体作動薬 (セリン誘導体)	韓国	物質特許

## 2) 特許出願状況

(各国移行件数を除く)



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。

### 3) 産学官連携の状況

#### 難治性神経芽腫の治療薬の開発を目的とした特定の酵素の選択的阻害剤の探索 (2015年5月)

名古屋大学大学院医学系研究科生物化学講座分子生物学 (門松 健治 教授)

#### 心不全治療薬の開発を目的とした特定タンパク質に対する選択的阻害剤の探索 (2015年10月)

名古屋大学大学院医学系研究科循環器内科学 (竹藤 幹人 助教)

#### 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) 治療薬の探索(2016年9月開始、2018年10月更新)

名古屋大学環境医学研究所分子代謝医学分野 (菅波 孝祥 教授)

#### 細胞老化を利用した変異型KRAS肺癌の新規治療薬開発 (2018年1月)

名古屋大学大学院医療技術学専攻病態解析学講座 (佐藤 光夫 教授)

#### TRPM8遮断薬 (RQ-00434739) の中枢における作用機序の解明 (2018年10月)

名古屋大学環境医学研究所脳機能分野 (澤田 誠 教授)

#### 網膜静脈閉塞症 (RVO) 治療薬の探索 (2019年5月)

岐阜薬科大学学生体機能解析学大講座薬効解析学研究室 (原 英彰 教授)

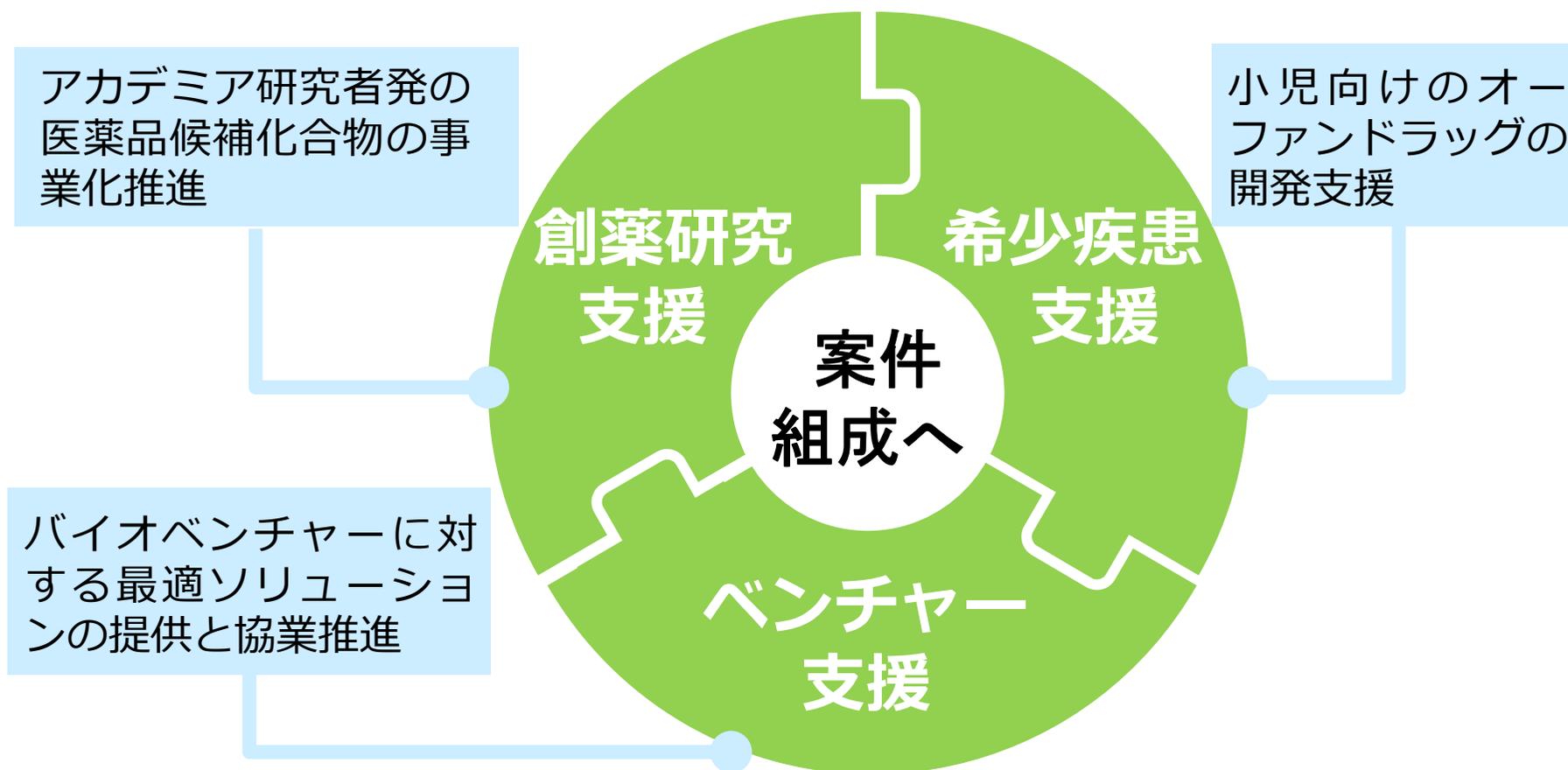
#### 筋委縮性側索硬化症 (ALS) の新規治療薬の創出に向けた初期探索研究 (2019年7月)

名古屋市立大学薬学系研究科病態生化学分野 (築地 仁美 講師)

#### マクロライド耐性型A群レンサ球菌に対する新規治療薬開発 (2019年12月)

名古屋市立大学医学系研究科細菌学分野 (長谷川 忠男 教授)

## 4) ラクオリア イノベーションズ株式会社



- ◆ ライフサイエンス領域のベンチャーやアカデミアに対し、技術開発支援や知財戦略の策定支援を行うべく、関係構築・案件組成につとめた
- ◆ 2020年12月期は、支援候補先ベンチャーとの連携を強化、案件組成へ

## 将来の見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。



RaQualia  
innovators for life

お問合せ先

E-mail : 当社HPからお願いいたします。  
<https://www.raqualia.co.jp/>

RaQualia Pharma Inc.

# appendix

## 会社概要

提出日現在

### 社名

ラクオリア創薬株式会社

### 代表取締役

谷 直樹

### 事業内容

医薬品の研究開発、医薬品及び臨床開発候補品に関わる基盤技術の知的財産の販売及び使用許諾

### 従業員

69名

### 設立

2008年2月19日

### 資本金

22億5,494万円

### 発行株式総数

20,950,142株

本社



名古屋駅

名古屋大学

創薬研究部門



# ラクオリア創薬の歩みと今後の成長



ご注意：本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。